

令和4年度『生活困窮者自立支援制度人材養成研修』
相談支援員養成研修

【導入】

研修のねらいと構成

同志社大学 社会学部 社会福祉学科
空閑 浩人（くがひろと）

生活困窮者自立支援制度における相談支援員の役割

- 相談者は自尊感情や自己有用感を喪失していることから、相談者との信頼関係を構築し、ストレングス視点を持って支援を展開していくことが重要である。
- また、良い支援を相談者に提供するためには、関係機関と連携しチームアプローチによる支援を展開していくことが求められる。
- なお、社会資源が不足している場合には、地域の関係機関のネットワークを強化したり、新たに社会資源を開発していく視点を持つ必要もある。
⇒ 相談支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践しましょう。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成
- 支援のコーディネートと適切な支援の提供
- 信頼関係の構築と自尊感情、自己有用感の回復に向けた支援
- スtrenグスに着目した本人主体の支援

“みんなで”

チームによる支援

- 主任相談支援員、就労支援員との協働
- 関係機関との連携、協働
- 自立相談支援事業と任意事業との一体的支援

“ずっと”

切れ目のない支援

- アウトリーチによる発見・支援
- 寄り添いながらの包括的、継続的支援
- 定着支援や終結後のフォローアップ
- 見守りのネットワークの構築

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- 各種制度や地域資源に関する情報収集と活用
- 関係機関・者のネットワークの構築
- 働く場、参加する場の開拓

研修プログラム【オンデマンド&ライブ配信】

○オンデマンド配信（9月21日～11月30日）

【講義①】 相談支援員の役割と個別支援の基本

【講義②】 ひきこもりの理解と支援—当事者の視点から—

【講義③】 子ども食堂と私たちの地域・社会

【講義④】 コロナ禍における自営業者の実態と今後の支援

【講義⑤】 つながりにくい相談者への支援

○ライブ配信（10月21日（金）9:50～17:30）

【講義と演習】 相談支援員の展開

【オンデマンド配信プログラム】での学び：その1

①相談支援の基礎となる知識や支援に対する考え方、また生活困窮に関連する最近のトピックなどを取り上げて、対象者の特性を踏まえた支援のあり方について講義形式で学びます。

②たとえば、オンデマンド講義で取り上げられる「ひきこもり」や「つながりにくい相談者」への支援などに関しては、当事者の側に立つとともに、「なぜそのような状態になってしまうのか、そうならざるを得ない状況は何か、なぜ支援につながらないのか・・・」という、その背景にある「社会的、構造的、関係的、環境的なるもの」への視点が重要です。

【オンデマンド配信プログラム】での学び：その2

③また、当事者やその家族を地域で支えるということや「居場所」づくり等について、「こども食堂」の取り組みを通して学びます。さらに、コロナ禍で相談支援が必要とされる自営業者の実態についても学びます。

④様々な困難を抱え、社会的に孤立した状況のなかで、「助けてと言えない・言わない」「どこに言ってもいいかわからない」「そもそも自分の状況が助けを求めるといふことなのかどうかもわからない」といった人々の存在があります。私たち相談支援員に求められる役割、支援とそのあり方について、今一度基本に立ち返りながら、一緒に学び、考えましょう。

【ライブ配信プログラム（10月21日）】での学び

○具体的な相談事例（山田さん家族の事例）を通して、初回面接、アセスメント、支援計画の策定、支援の実施等の一連の支援プロセスについて学びます。

○支援の展開を左右する「相談者との信頼関係や援助関係の構築」について学びます。

○支援の展開の際に大切な「他機関との連携」について学びます。

○最後に「支援の評価や終結」について学びます

○研修全体を通して、「帳票類標準様式」の活用の意義や実際についても理解を深めます。

生活困窮者自立支援制度における相談支援員の役割

- 相談者は自尊感情や自己有用感を喪失していることから、相談者との信頼関係を構築し、ストレングス視点を持って支援を展開していくことが重要である。
- また、良い支援を相談者に提供するためには、関係機関と連携しチームアプローチによる支援を展開していくことが求められる。
- なお、社会資源が不足している場合には、地域の関係機関のネットワークを強化したり、新たに社会資源を開発していく視点を持つ必要もある。
⇒ 相談支援員自身も、自分の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践しましょう。

“きちんと”

丁寧な相談支援

- 包括的な相談受付、アセスメント、プラン作成
- 支援のコーディネートと適切な支援の提供
- 信頼関係の構築と自尊感情、自己有用感の回復に向けた支援
- スtrenグスに着目した本人主体の支援

“みんなで”

チームによる支援

- 主任相談支援員、就労支援員との協働
- 関係機関との連携、協働
- 自立相談支援事業と任意事業との一体的支援

“ずっと”

切れ目のない支援

- アウトリーチによる発見・支援
- 寄り添いながらの包括的、継続的支援
- 定着支援や終結後のフォローアップ
- 見守りのネットワークの構築

“つながる・つくる”

社会資源の活用と開発

- 各種制度や地域資源に関する情報収集と活用
- 関係機関・者のネットワークの構築
- 働く場、参加する場の開拓